



令和八年度
学校要覧
▼ 附属幼稚園
▼ 附属小学校
▼ 附属中学校

兵庫教育大学附属学校園のミッションとビジョン

日本の教師教育をリードする兵庫教育大学の附属学校園として、ミッションとビジョンを遂行し、先導的な教育実践研究を推進するとともに、一人一人の子どもの学びや成長が保障される創造性豊かな教育の実現等をめざします。

ミッション

大学と一体となった先導的な教育実践研究の推進

「教師教育のトップランナー」をビジョンとして掲げる大学と一体となり、先導的な教育手法を取り入れ、理論と実践の融合に取り組み、先導的な教育実践研究を推進します。

新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施

学校や社会の変化を見据えつつ、将来学校教員となる学生に対して教育実習を提供し、新たな時代を担う教員の資質・能力の向上に努めます。

地域のモデル校としての役割の遂行

現代的教育課題の解決に挑む教育研究活動を推進し、その成果を地域社会に還元することによって、地域のモデル校としての役割を担います。

ビジョン

学校像

先導的な教育環境のもとで、幼稚園、小学校、中学校の12年間を通して、園児・児童・生徒、教職員、保護者が一体となって、地域社会と連携しながら、一人一人の子どもの学びと成長が保障される創造性豊かな学校をめざします。

子ども像

これからの社会において必要とされる情報活用能力を身に付けるとともに、主体的かつ対話的な教育活動を通して、心身ともにたくましく、未来を切り拓いていける知的創造力と寛容性を兼ね備えた、グローバル社会で活躍できる人間を育成します。

教員像

全国の自治体から附属学校園に派遣される教員が、附属学校教員としての自覚をもち、互いに敬意をもって高め合い、学校における働き方改革を踏まえ、先進的で優れた教育実践に取り組み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる資質・能力の向上に努めます。



附属幼稚園

教育目標

教育基本法及び学校教育法等で定められている幼稚園教育の目的と目標の基盤の上に立ち、地域の実態に即して「心身ともにたくましく育てる」ため、次の教育目標を設定し、保育活動の推進にあたる。

健康な体の
子ども

やさしく
豊かな心をもつ
子ども

よく考えて
最後までやりぬく
子ども



幼児の状況

令和8年5月1日現在

学級編成

	3歳児		4歳児		5歳児		合計
	うめ	もも	ひまわり	ゆり	すみれ	わかば	
男	4	5	7	7	5	5	33
女	6	6	6	6	4	4	32
学級別合計	10	11	13	13	9	9	65
学年別合計	21		26		18		

地域別

	幼児数 (%)
加東市	39 (60.0)
小野市	12 (18.5)
西脇市	4 (6.2)
三木市	5 (7.7)
三田市	2 (3.1)
多可町	1 (1.5)
丹波篠山市	1 (1.5)
姫路市	1 (1.5)
合計	65

(7市1町)

一日の保育の流れ





心身ともにたくましく育てる

少人数制で子ども一人ひとりの可能性を伸ばす保育

1学級 20名定員で、複数の職員によるきめ細かな保育、その中で、子どもの「やりたい!」「なぜだろう?」を大切にしたい保育を行っています。

本園の特色

うれしのタイム

一人一人の幼児が好きな遊びに取り組みながら、自分の実現したいことに熱中したり、友達と様々なやりとりをしたりしながら、共に遊びを創り出していく場として、「うれしのタイム」を一日の保育活動の中で「学級・学年の活動」と同じように大切にしています。



子育て支援

保護者自身が子育ての力を高めることをめざし、「保育参加」「園庭開放」「子育て講座」「子育て相談」などを実施しています。



大学・他校種との連携

大学教員の専門性を生かした活動や附属小・中学校や公立高校との交流を、保育に効果的に取り入れています。

預かり保育 (かんばんーるーむ)

学び、働く保護者を支援し、園児に保育時間前・後のふさわしい過ごし方を提供するため、附属幼稚園では預かり保育を実施し、園児の健やかな成長を促します。また、外部講師を招いて活動をすることもあります。



年間行事

毎月 誕生会、発育測定
子ども安全の日(避難訓練・安全点検)

随時 ふよっこデー(保育参観・参加)
附属小・中・社高校との交流活動
子育てひろば(子育ての支援活動)
大学との連携(親子活動
「造形遊び・運動遊び」陶芸活動他)

4 第一学期始業式・入園式
親子入園・個人懇談
PTA総会

5 定期健康診断
学校観察実習
教育実習
個人懇談

6 入園募集要項公示
園外保育
プール活動

7 入園募集説明会
学級懇談会
第一学期終業式

8 入園選考

9 入園選考結果発表
第二学期始業式

10 運動会
園外保育

11 不審者対応訓練

12 研究発表会
ハッピーパーティ
第二学期終業式

1 第三学期始業式
もちつき

2 入園説明会
生活発表会
新入園児親子一日入園
親子愛園作業

3 お別れ会
修了証書授与式
修了式



附属小学校

教育目標

ねばり強く問いつづけ、
よりよいものをつくり出す子

求める

より高い価値を追求する力

はげまし 支え合い
共に伸びる子

支える

やさしく、
きびしくみつめる愛

人間として
生きぬく力を
育てる

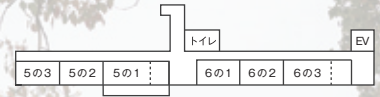
強い心とたくましい
体をつくる子

鍛える

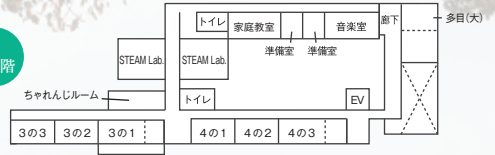
心も体もたくましく、
しかも旺盛な実践力

校舎内 配置図

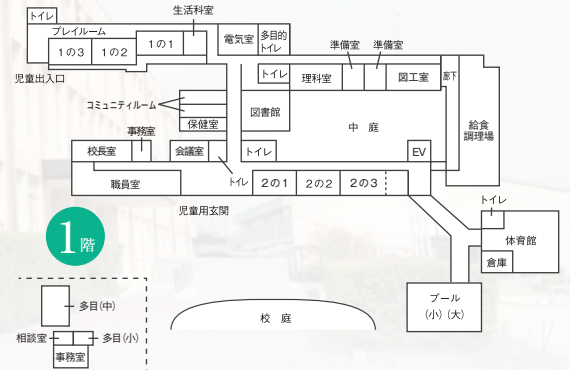
3階



2階



1階



図書館



STEAM Lab.

児童の状況

令和8年5月1日現在

学級編成

組名	1年			2年			3年			合計
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	
男	10	9	9	8	8	7	13	14	13	378
女	9	9	10	8	9	9	11	11	11	
学級別合計	19	18	19	16	17	16	24	25	24	378
学年別合計	56			49			73			
組名	4年			5年			6年			合計
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	
男	11	10	10	13	14	13	10	9	10	378
女	9	10	10	10	9	9	14	15	14	
学級別合計	20	20	20	23	23	22	24	24	24	378
学年別合計	60			68			72			

地域別

地域	児童数 (%)
加東市	169 (44.7)
小野市	57 (15.1)
西脇市	56 (14.8)
三木市	33 (8.7)
多可町	1 (0.3)
加西市	24 (6.3)
加古川市	10 (2.6)
三田市	11 (2.9)
丹波篠山市	5 (1.3)
神戸市	6 (1.6)
姫路市	3 (0.8)
明石市	2 (0.5)
宝塚市	1 (0.3)
合計	378

(12市1町)



「人間として生きぬく力を育てる」 ために

昭和 55 年創設以来、「人間として生きぬく力」を掲げ、子どもが「学ぶ」ことの大切さ、楽しさを知り、「学び」の本来の意義を理解し、生涯にわたって「学び」続ける力と確かな「人間力」をめざして教育実践を行っています。

「人間として生きぬく力を育てる」ために、以下の 4 つの要素が重要と捉えています。

- 確かな学力の定着
- 情報活用能力を生かし、好奇心・探究心をもって学び続ける力
- 豊かな感性と表現力
- 多様性を尊重して他者とかわる力

先導的な教育研究の推進（文部科学省「研究開発学校」に指定）

Society5.0時代を築き、生きぬく子どもの育成を目指して、令和8年度からの4年間、文部科学省の研究開発学校の指定を受け、次期学習指導要領を先取りした教育研究に取り組んでいます。具体的には、大学・附属学校園との共同研究のもと、「総合的な学習の時間」に「情報の領域」を付加し、全ての学習の基盤となる情報活用能力の抜本的な向上を図り、各教科・領域において質の高い探究的な学びを実現するとともに、文理横断型のSTEAM教育の展開を図っています。また、中学校との連携を深めながら教育課程や教育方法の研究開発を進め、その成果を全国に発信します。

さらに、英語教育や国際理解教育に取り組んでいます。英語教育では1年生から6年生までALTとのチームティーチングのもとで授業を実施しています。5・6年生を中心にフィンランドやニュージーランドとのオンライン交流、フィンランドへの児童生徒の訪問団派遣などを行っています。グローバル化が進展するこれからの時代を生き抜くための子どものコミュニケーション能力を育みます。

地域のモデル校としての役割の遂行

先導的な教育研究の推進と共に、教科指導では教科担任制を導入し、専門的に研究している教科担当の教員が中心となって、質の高い授業と複数の教員による多面的な児童理解を行い、児童一人一人へのきめ細かな指導・支援をめざしています。

また、附属学校としては珍しい学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を推進しています。附属学校ならではの取組として、授業実践交流会や附属中学校との合同研究発表大会の開催など、地域の「教員の知の拠点」化をめざした活動を進めています。

学校力～豊かな人材と環境、そして温かい仲間～

全国から人事交流で赴任した教員が、各地域の学校教育の特色やそこで培った経験を生かし、大学と一体となって、先進的で優れた教育実践に挑み、より良い教育を行います。

自然豊かな環境のもと、広い校舎と運動場で伸びやかに教育活動を行っています。さらに、インテル社等の企業の協力支援も受けて整備したSTEAM Lab.（スチームラボ）を活用し、海外とのオンライン交流や3Dプリンターを活用したものの作りなどに取り組み環境が整備されています。

1年生から6年生まで縦割りでの学習活動を活発に行います。学年を超えて多くの友達と学び合う場を作っています。対話を大切に、互いに認め合い成長を喜び合う仲間づくりに取り組んでいます。また、3附属学校園間の交流も頻繁に行っています。



年間行事

大学教員と連携した各教科研究会

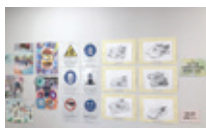
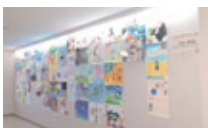
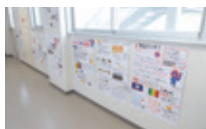
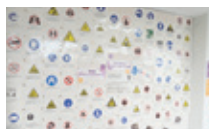
- 4 入学式
第一学期始業式・着任式
はじめてまわりのクラス
なかよし遠足
- 5 授業参観・学級懇談会
学校観察実習・教育実習
学校説明会
- 6 スポーツフェスティバル
授業実践交流会
水泳指導（7月まで）
- 7 個人懇談
第一学期終業式
学校説明会・体験授業
- 8 フィンランド国際交流プログラム
（フィンランド訪問）
- 9 入学募集要項公示
第二学期始業式
学校説明会・オープンスクール
- 10 入学願書受付
教育実習
授業実践交流会
林間学校（4年生）
- 11 修学旅行（6年生）
自然学校（5年生）
入学選考・結果発表
不審者対応訓練
- 12 個人懇談
第二学期終業式
- 1 第三学期始業式
研究大会
- 2 新一年生入学説明会
附小っ子学園祭
オープンスクール
- 3 ありがとうの班
卒業証書授与式
修了式



「自他の幸せのために、ともに学び、粘り強く挑戦し続ける Agency の育成」

附属中学校は、OECD Education2030 で提唱されている「Agency」の育成をめざしています。Agency とは、「自分の人生と周りの世界に対して良い影響を与えることのできる能力、意思、信念」という概念で、責任をもって主体的に行動する力として「行為主体性」とも訳されます。本校では Agency を「自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力」と定義しています。

令和7年度は、「自他の幸せのために、ともに学び、粘り強く挑戦し続ける Agency の育成」を研究目標に、探究的で教科横断的な学びの手段である STEAM 教育を手がかりとしながら、自他の幸せのために学び、考え、行動する主体の育成を目指す教育実践をめざしてきました。



▲校内キュレーション

「情報活用能力の抜本的な向上」に向けた文部科学省「研究開発学校」に指定

令和8年度より、本校及び附属小学校が、文部科学大臣から「研究開発学校」に指定されました。次期学習指導要領に盛り込まれる「情報活用能力の抜本的な向上」を実現するための小中一貫の教育課程と指導方法の研究開発と、研究成果の全国への発信をめざします。本校では、新たに「情報・技術科」を設置するとともに、全ての教科において、情報活用型の探究的な学びの実現と、教科横断的なSTEAM教育の展開を図っています。

「キャリア探究総合」

本校ではSTEAM教育の実践の場として、総合的な学習の時間に「キャリア探究総合」を設定しています。その中では、現実社会における課題の解決を目指し、それに向けた資質・能力の向上を図りながら、探究的な学習を日々実践開発しています。



● みんなの幸せをみんなで作る探究活動

令和5・6年度は、『自分の好きなこと』×『地域や社会にできること』で人を笑顔に」をテーマに、企業の協力を受けながら、3年間での系統性をもたせたSTEAM単元を設定し、学年ごとに実践してきました。

令和7年度は、これまでの理念の大枠を引き継ぎつつ、学校教育目標や学校経営方針、研究主題を踏まえ、生徒たちが理想とする学校を実現することをめざしました。「私たち」や「未来の附属中生」の居場所となるような「モノ」「コト」「場所」づくりを希求することを、総合的な学習の時間の目的に据え、全校探究テーマとして「Our Place ～みんなの居場所をつくらう～」を掲げました。これは、生徒会スローガン「Your Place ～明日も来たい附属中～」に基づいたもので、学校の居場所づくりを目指すなかで、自分と他者、そして社会のウェルビーイングの実現のために、当事者意識をもってそれぞれのシーズ（持ち味）を生かし、行動できる生徒の育成をめざしてきました。

今後も探究活動が学校の中だけにとどまることなく、地域の方々や企業との関わりの中で展開されるよう、「子どもも大人も学ぶ探究的な学び」の実践を目指していきます。



年間行事

STEAM 教育の実践開発 (通年)

4

一学期始業式・入学式
生徒会入会式
授業参観 (PTA 総会)
情報講演会

5

実地教育 I
交通安全教室
第1回オープンスクール
(公開授業)
体育大会

6

加東市総合体育大会
一年生わくわくオーケストラ
期末テスト
防災訓練
三年生進路説明会

7

東播総合体育大会
公開授業研究
一学期終業式
三者懇談
第2回オープンスクール
(体験授業)

8

フィンランド国際交流プログラム
(フィンランド訪問)

9

二学期始業式
加東市新人総合体育大会
三年生修学旅行

10

授業実践交流会
第3回オープンスクール
(公開授業)
実地教育 VII
東播新人総合体育大会
友嬉祭
三年生進路説明会

11

期末テスト
不審者対応訓練
入学募集要項公示

12

三者懇談
生徒会選挙
加東市中学校駅伝競走大会
二学期終業式

1

三学期始業式
防災訓練
入学選考・結果発表
研究大会

2

期末テスト
入学説明会

3

三年生を送る会
卒業証書授与式
修了式

兵庫教育大学附属学校園の教育を支える取組

附属学校園における心と学習への支援

附属学校園では、公認心理師又は臨床心理士資格を保有したスクールカウンセラーを各校園に配置し、園児・児童・生徒及び保護者からの相談に当たっています。

また、小学校及び中学校には学習補助員を配置し、学習支援・学校生活支援に取り組んでいます。これらの相談・支援活動を「附属学校教育相談室」で一元的に管理し、校種を越えて継続的で横断的な支援を行っています。

さらに、子ども発達支援医、スクールロイヤーの配置により、通常の相談業務では解決が難しい事案に対応できるよう、医療的、法的観点から専門的に相談できる体制を構築しています。

安全管理

園児・児童・生徒の安全を確保し、安心して学べるような様々な対策を実施しています。

- 警備員2名の配置
- 兵庫県警とのホットラインの設置
- 通用門及びインターホンの設置
- 監視カメラ・モニターの設置
- 自動体外式除細動器(AED)の設置
- 安心メール配信の導入
- 安全な登下校指導の徹底
- 不審者侵入等を想定した訓練
- 引渡訓練

学びと仕事を支える「兵庫教育大学の子育て支援」

●アフタースクール

働く保護者を支援し、児童の生活・学習指導を行うため、附属小学校では放課後にアフタースクールを実施しています。異学年の児童と一緒に活動させることで社会性を育みます。

●預かり保育

学び、働く保護者を支援し、園児に保育時間後等のふさわしい過ごし方を提供するため、附属幼稚園では放課後に預かり保育を実施しています。園児の健やかな成長を促します。

●子育て支援ルーム「かとう GENKi」

原則週4日、主に未就園児とその保護者に無料で開放しています。就園前の乳幼児親子が安心して集える場を提供しています。

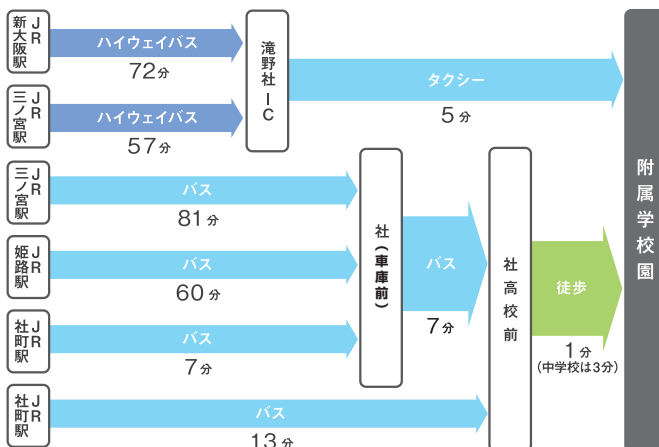
教員の構成状況

	人数	幼稚園	小学校	中学校	②と③の交流先
①大学独自採用教員及び大学兼務教員	22	9	8	5	兵庫県(尼崎市・西宮市・伊丹市・加古川市・高砂市・小野市・加西市・多可町・姫路市・赤穂市・たつの市・上郡町・佐用町・朝来市・丹波市・洲本市) 神戸市、北海道、岐阜県、京都府、大阪府、島根県、岡山県、宮崎県、鹿児島県、堺市
②兵庫県・神戸市教育委員会との人事交流教員	25	0	13	12	
③他府県教育委員会(政令市教育委員会含む)との人事交流教員	11	0	8	3	
④非常勤講師及び学習支援員など	50	12	17	21	
合計	108	21	46	41	

交通アクセス



●交通案内



お問い合わせ

兵庫教育大学附属幼稚園

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2013-4
☎0795-40-2227 fax:0795-40-2228
<https://hyogo-u-kinder.jp/>

兵庫教育大学附属小学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2013-4
☎0795-40-2216 fax:0795-40-2219
<https://www.hyogo-u.ac.jp/element/>

兵庫教育大学附属中学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2007-109
☎0795-40-2222 fax:0795-40-2225
<https://www.hyogo-u.ac.jp/middle/>